



Logistics, Progress, Borderless.

2019年3月期決算説明資料

2019年5月21日



証券コード : 9324

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

1. 長期ビジョンと新中期経営計画について

2. 環境認識

3. 2019年3月期 通期の実績

4. 2020年3月期 通期の見通し

1. 長期ビジョンと新中期経営計画について

2. 環境認識

3. 2019年3月期 通期の実績

4. 2020年3月期 通期の見通し

『世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す』

顧客

他の追随を許さないロジスティクス・ソリューションと
人間力で確固たる顧客満足を獲得する。



従業員

多様性を尊重し働きやすく且つ
働き甲斐のある職場で従業員が
最大限のパフォーマンスを
発揮する。

社会

事業を通じた環境負荷低減や高い災害強靱性で
持続可能な社会の構築に貢献する。

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

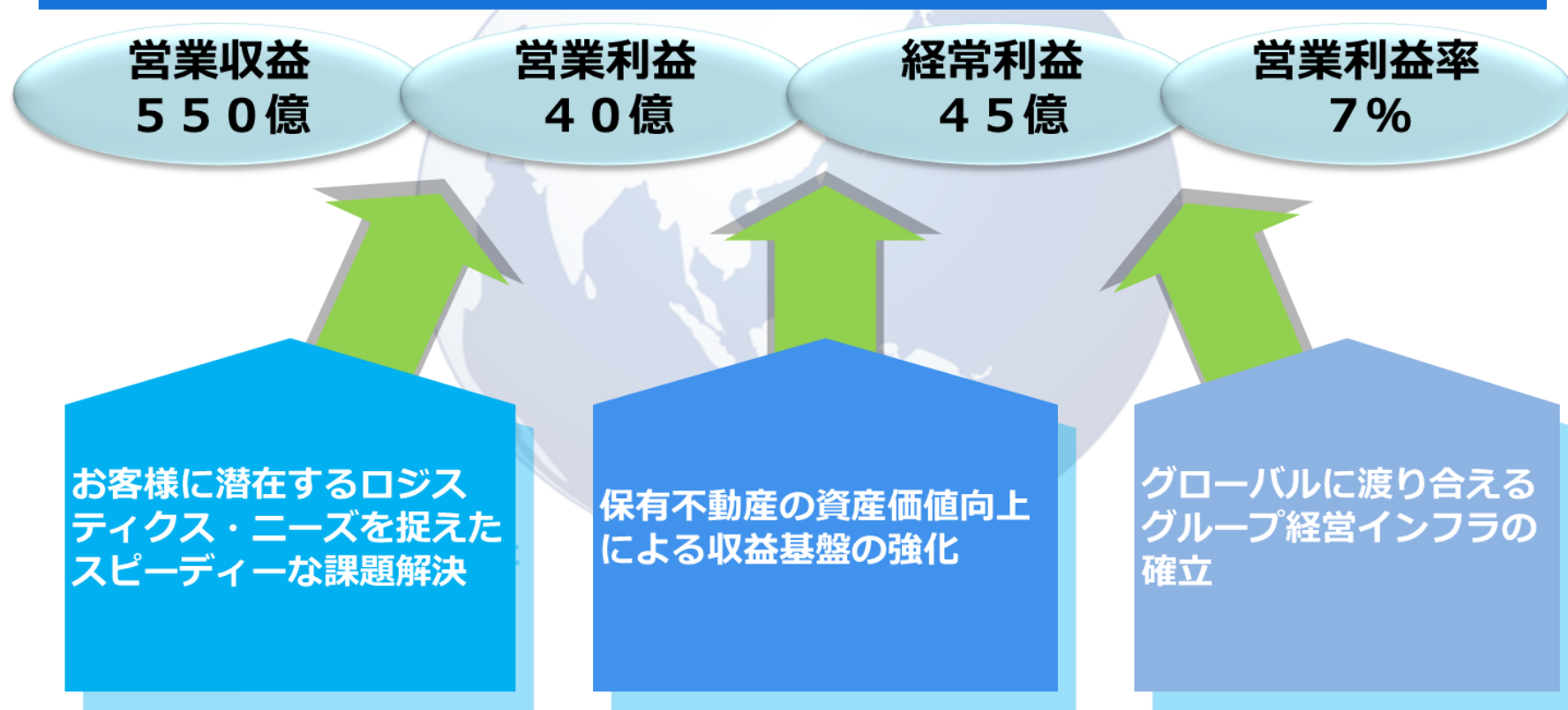
株主

高い収益力と強固な財務基盤
により企業価値の向上を図る。

基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、
お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

基本目標



基本戦略

経営インフラの高度化

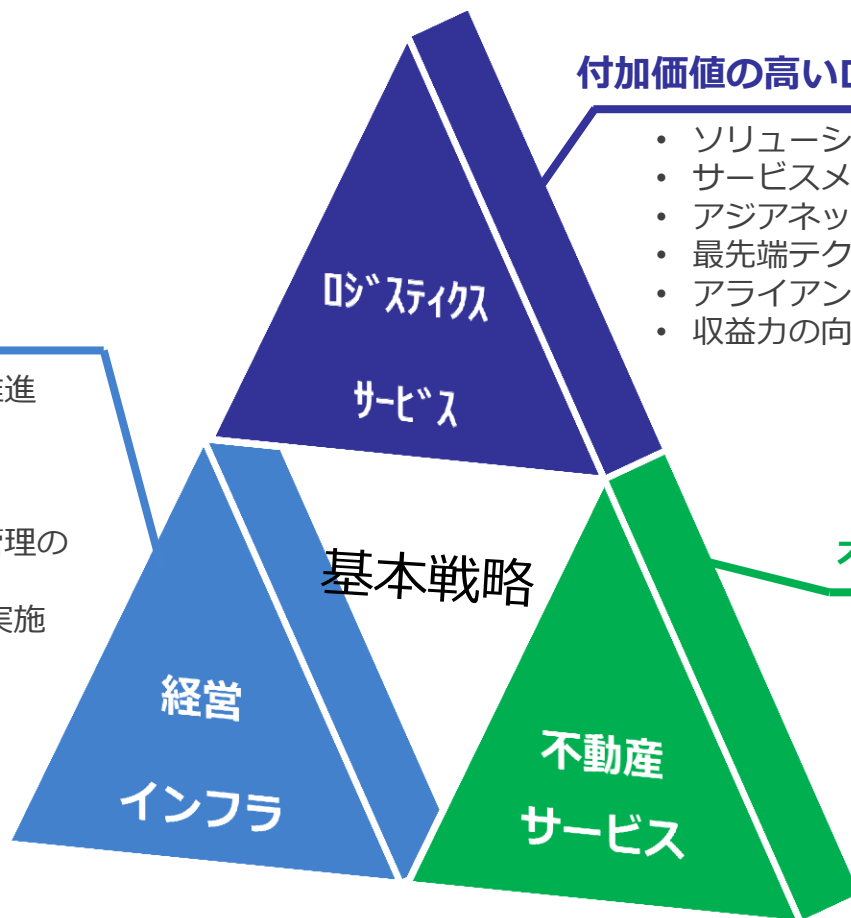
- 多様な人材活用、働き方の推進
- 専門性の高い人材の育成
- 情報システムの高度化
- グループ連携の強化
- コンプライアンス、リスク管理の徹底とガバナンスの強化
- シナジーの見込めるM&Aの実施
- 事業基盤の災害強靱化
- 財務規律の維持、強化

付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供

- ソリューション提案型営業の徹底
- サービスメニューの拡充
- アジアネットワークの拡大
- 最先端テクノロジーの活用
- アライアンスの強化
- 収益力の向上

不動産事業の維持・拡大

- 保有不動産再開発の促進
- 施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進



1. 長期ビジョンと新中期経営計画について

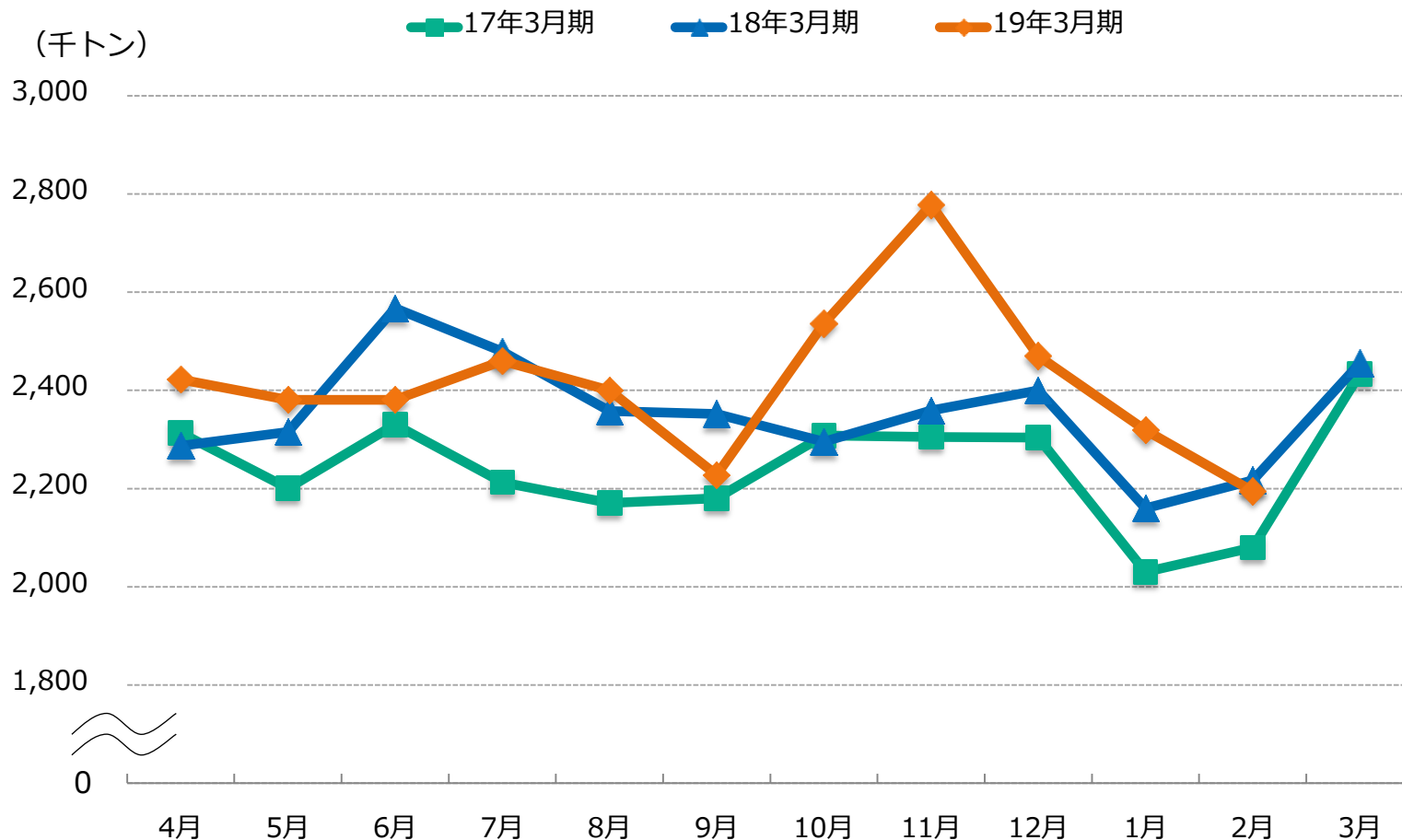
2. 環境認識

3. 2019年3月期 通期の実績

4. 2020年3月期 通期の見通し

普通倉庫 2 1 社統計 入庫高

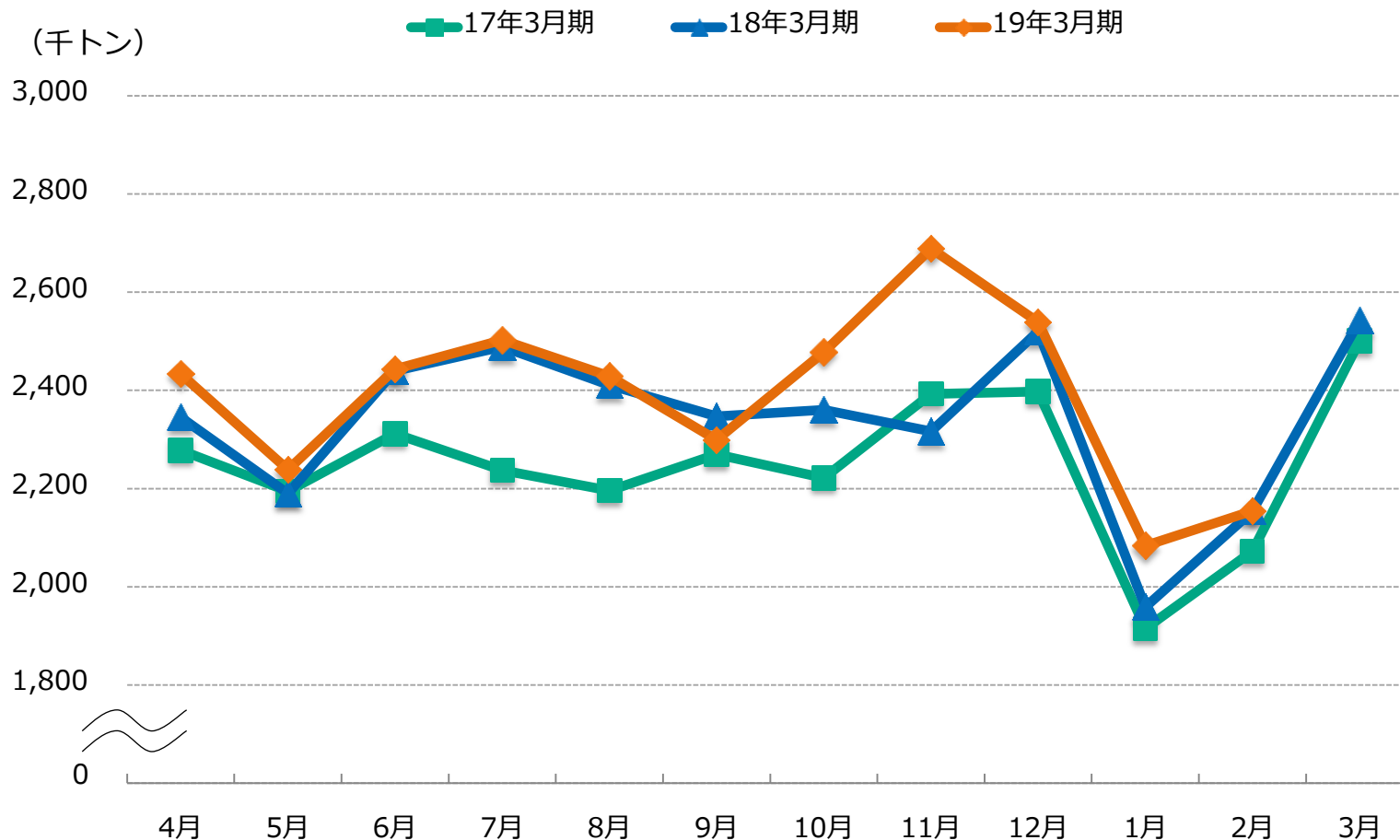
7



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 出庫高

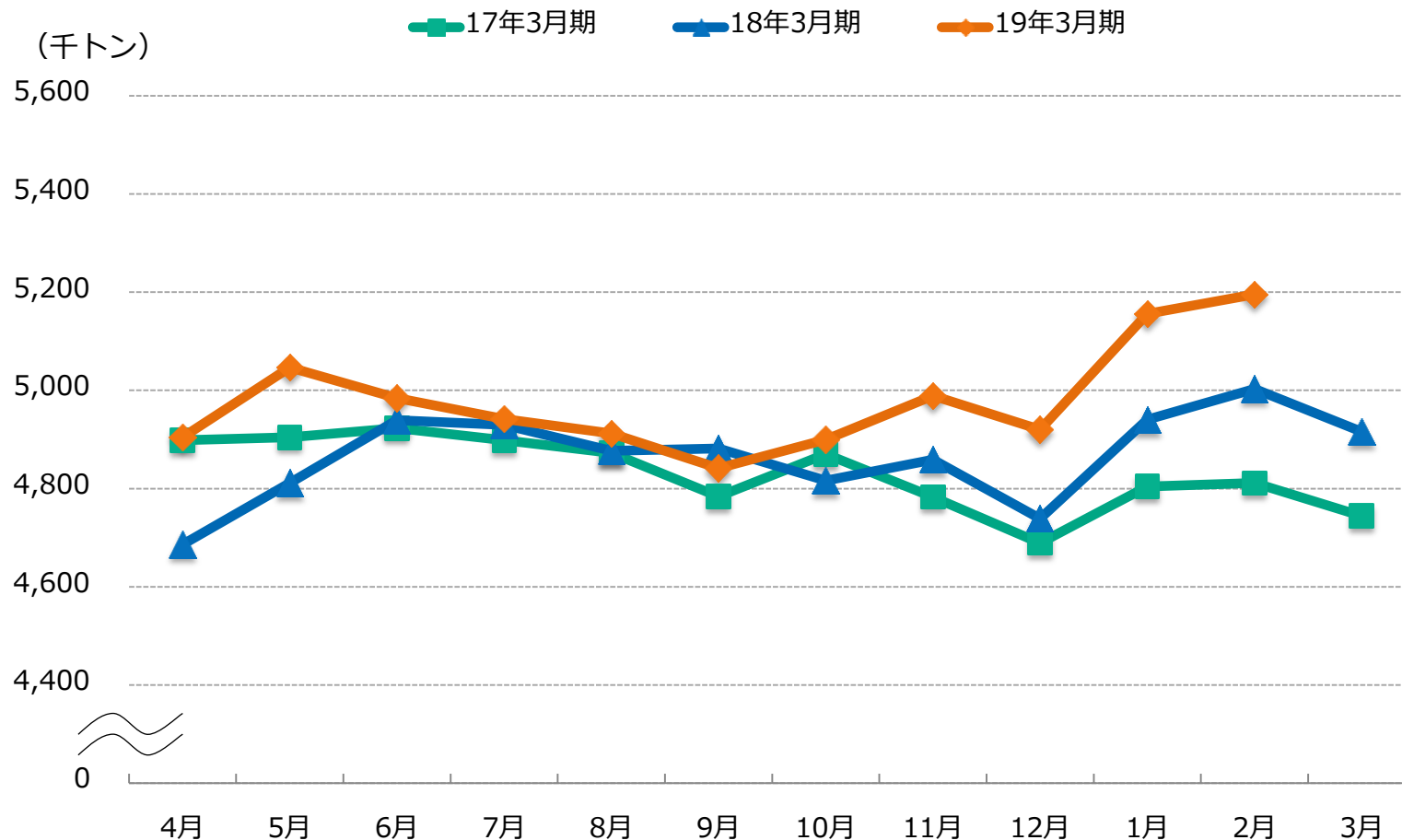
8



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 保管残高

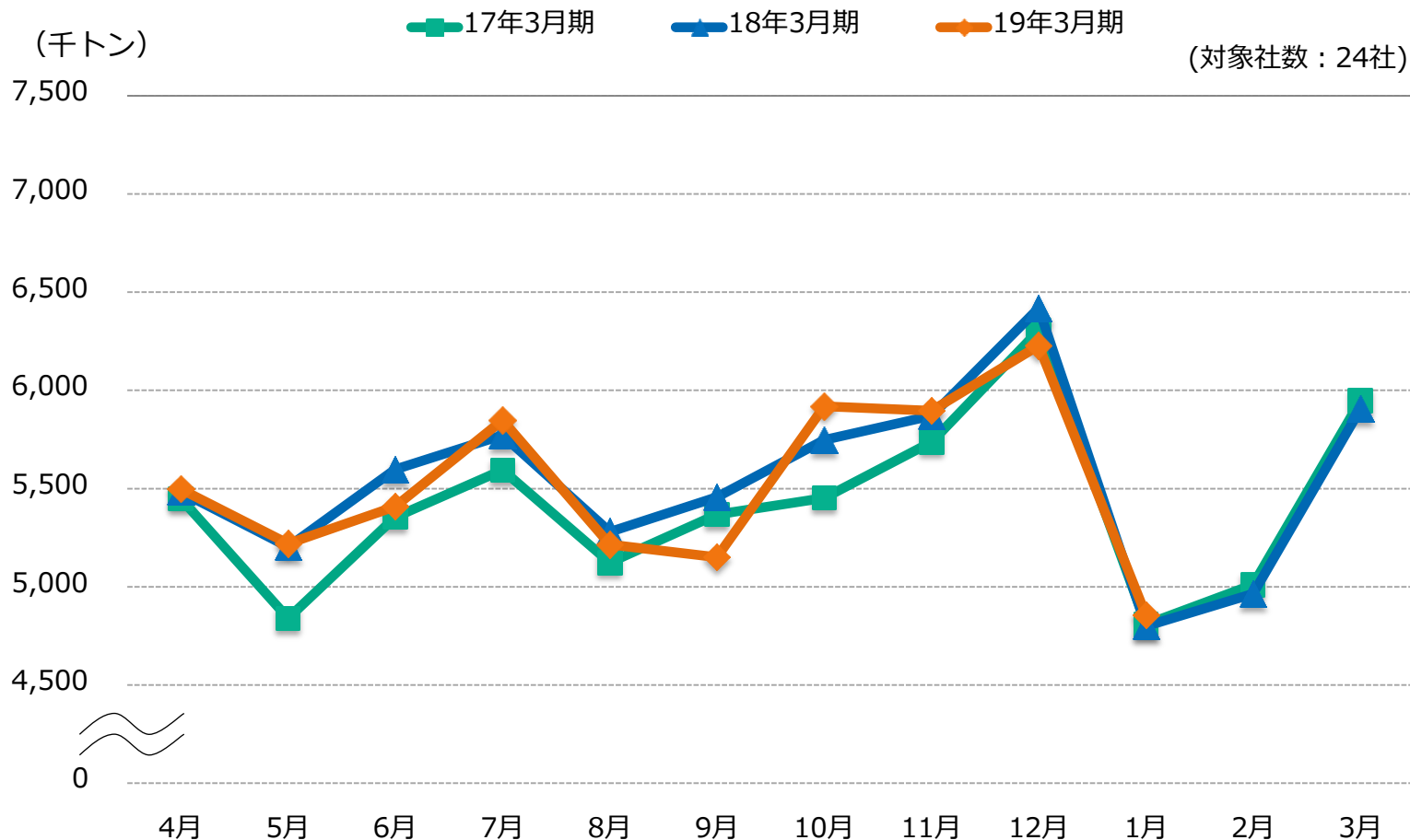
9



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

特積貨物輸送トン数

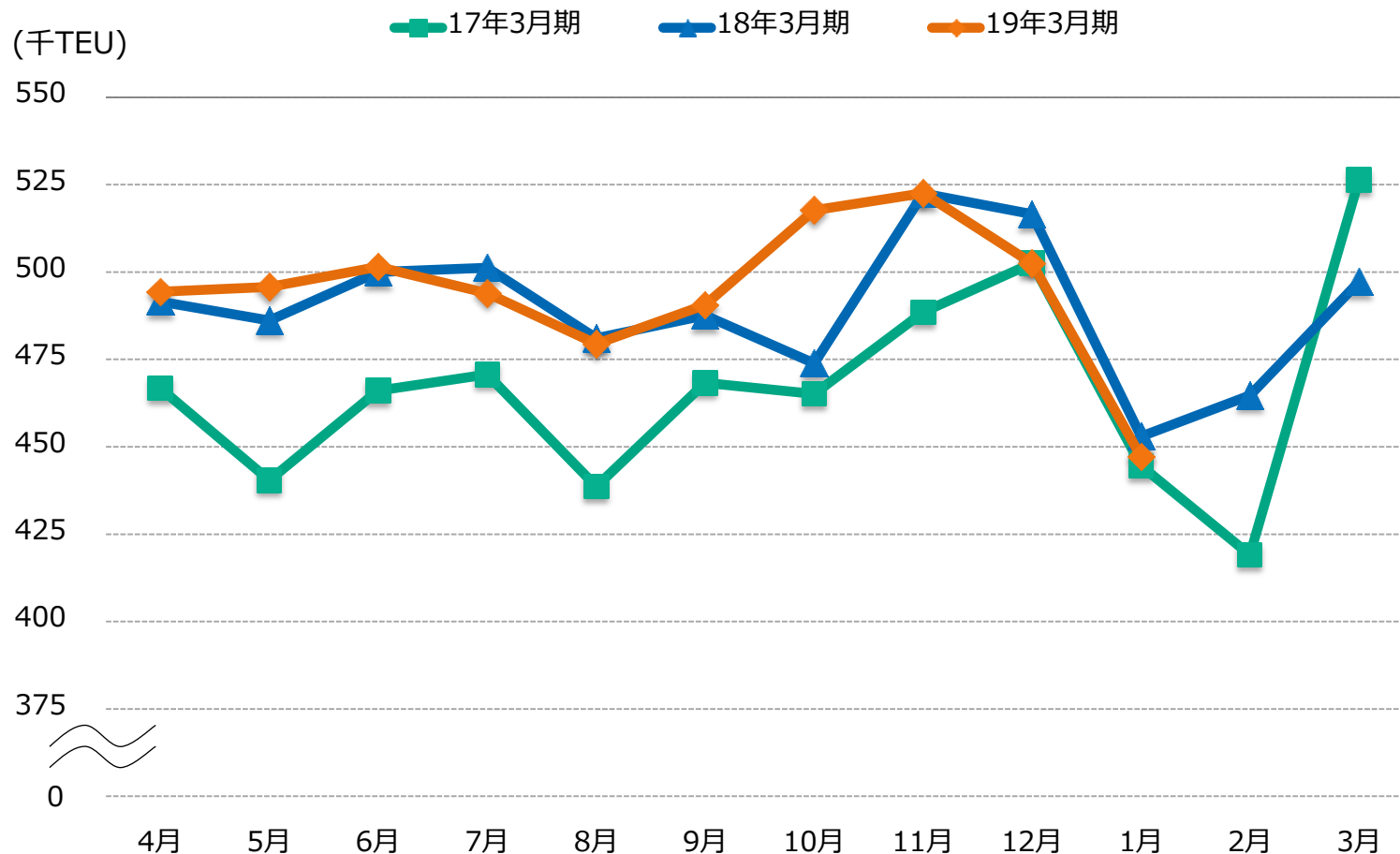
10



データ出典：国土交通省 トラック輸送情報

コンテナ取扱本数（京浜港） 輸出入合計

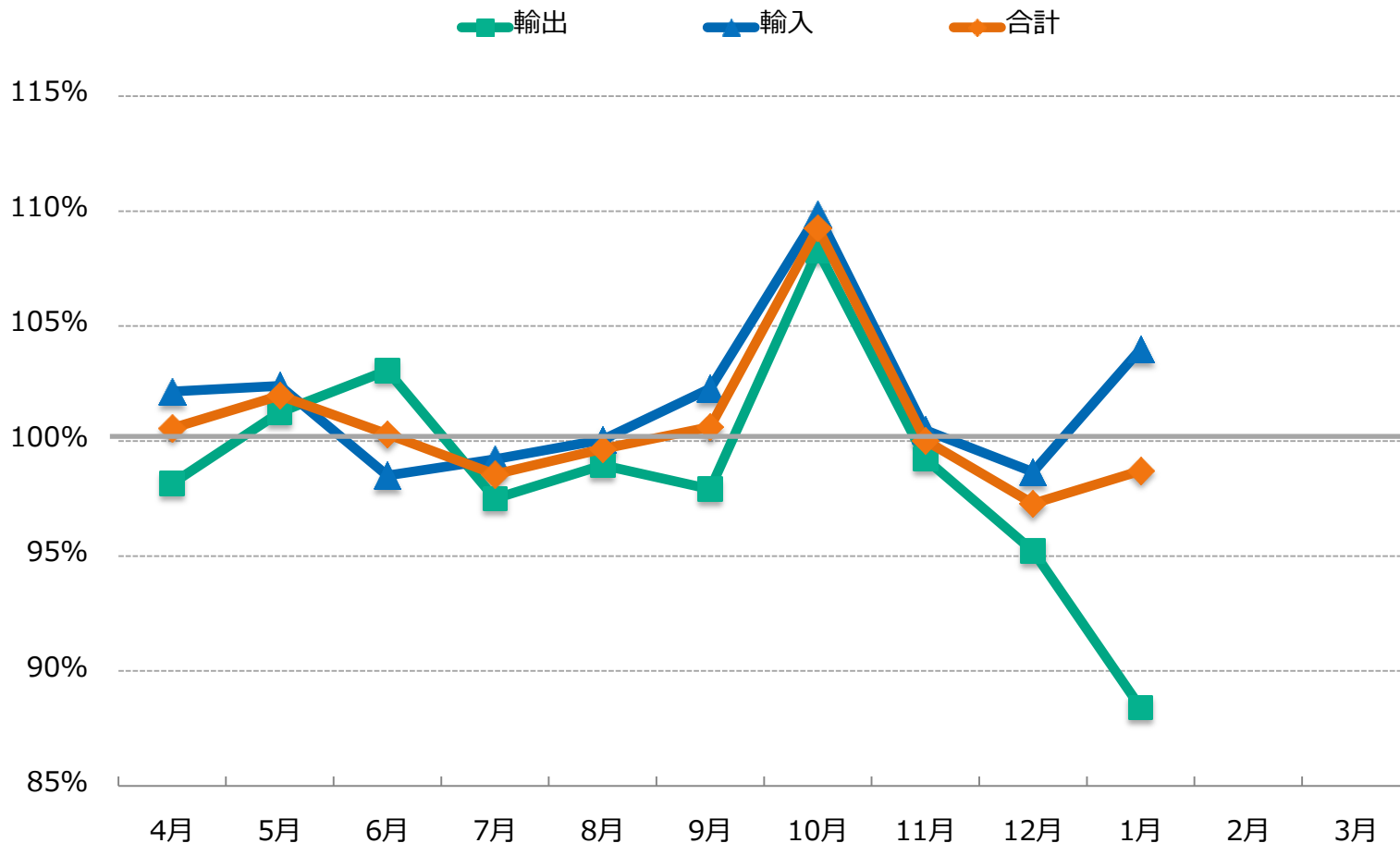
11



データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

コンテナ取扱本数（京浜港） 前年同月比

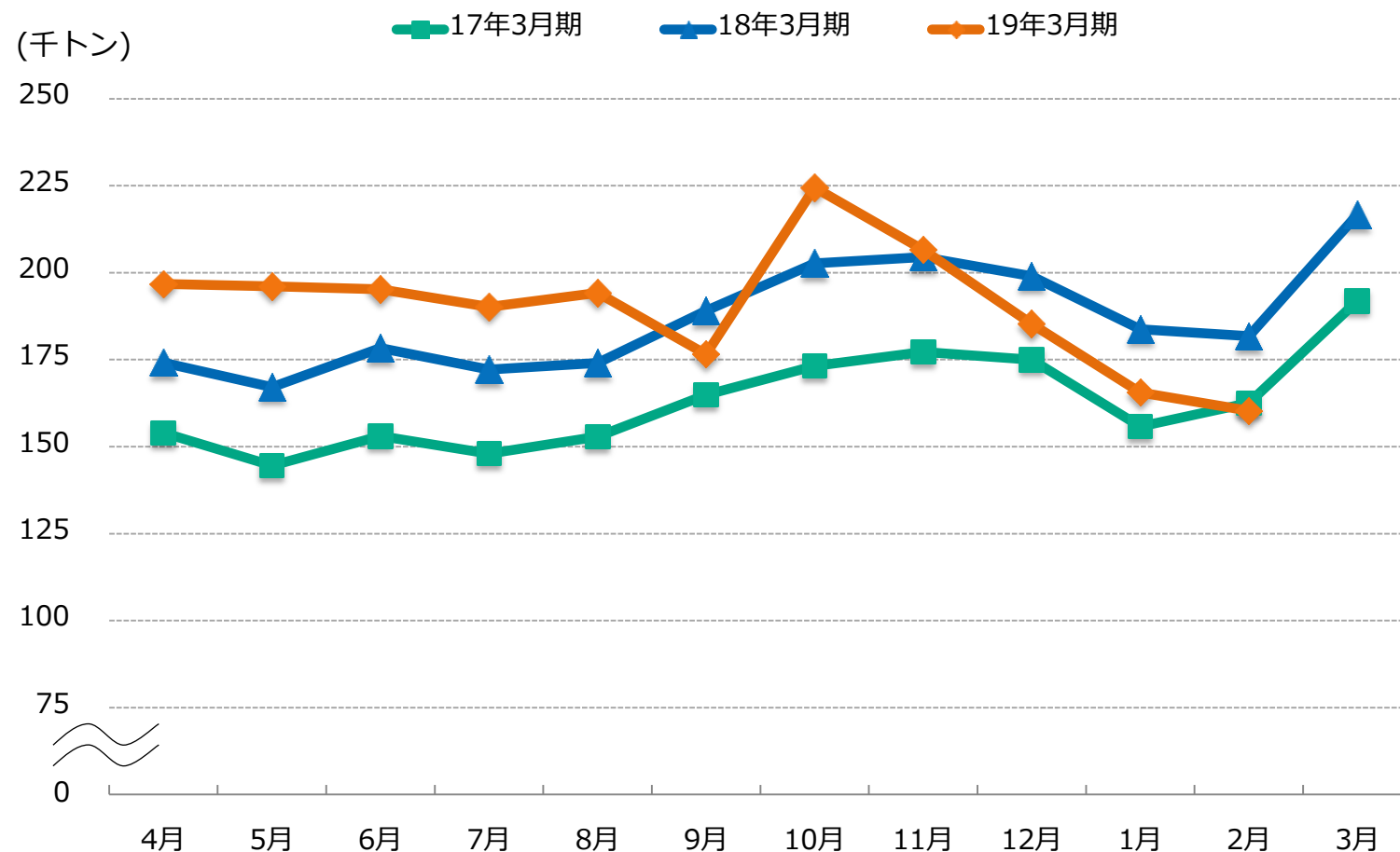
12



データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

国際航空貨物取扱量 輸出入合計

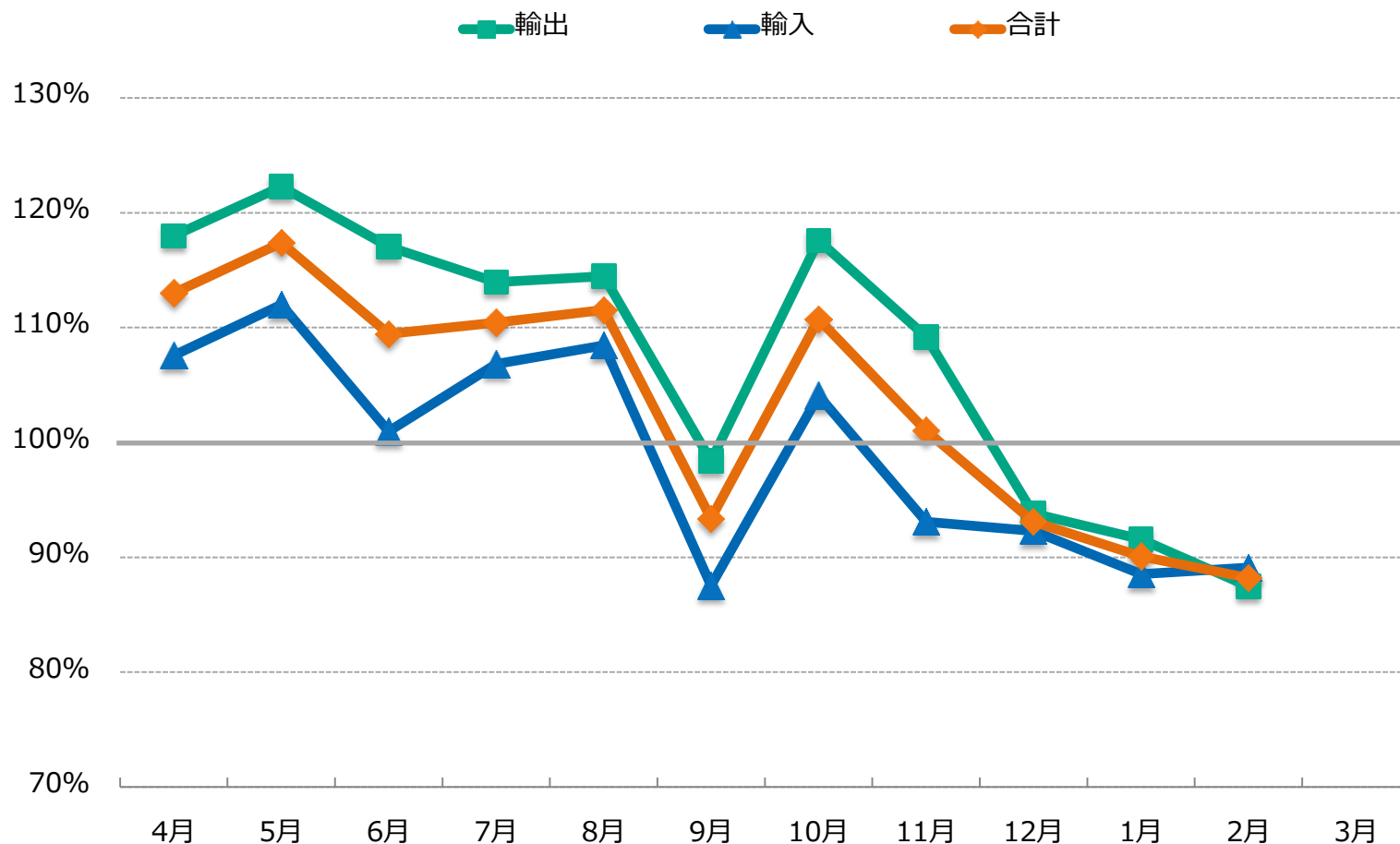
13



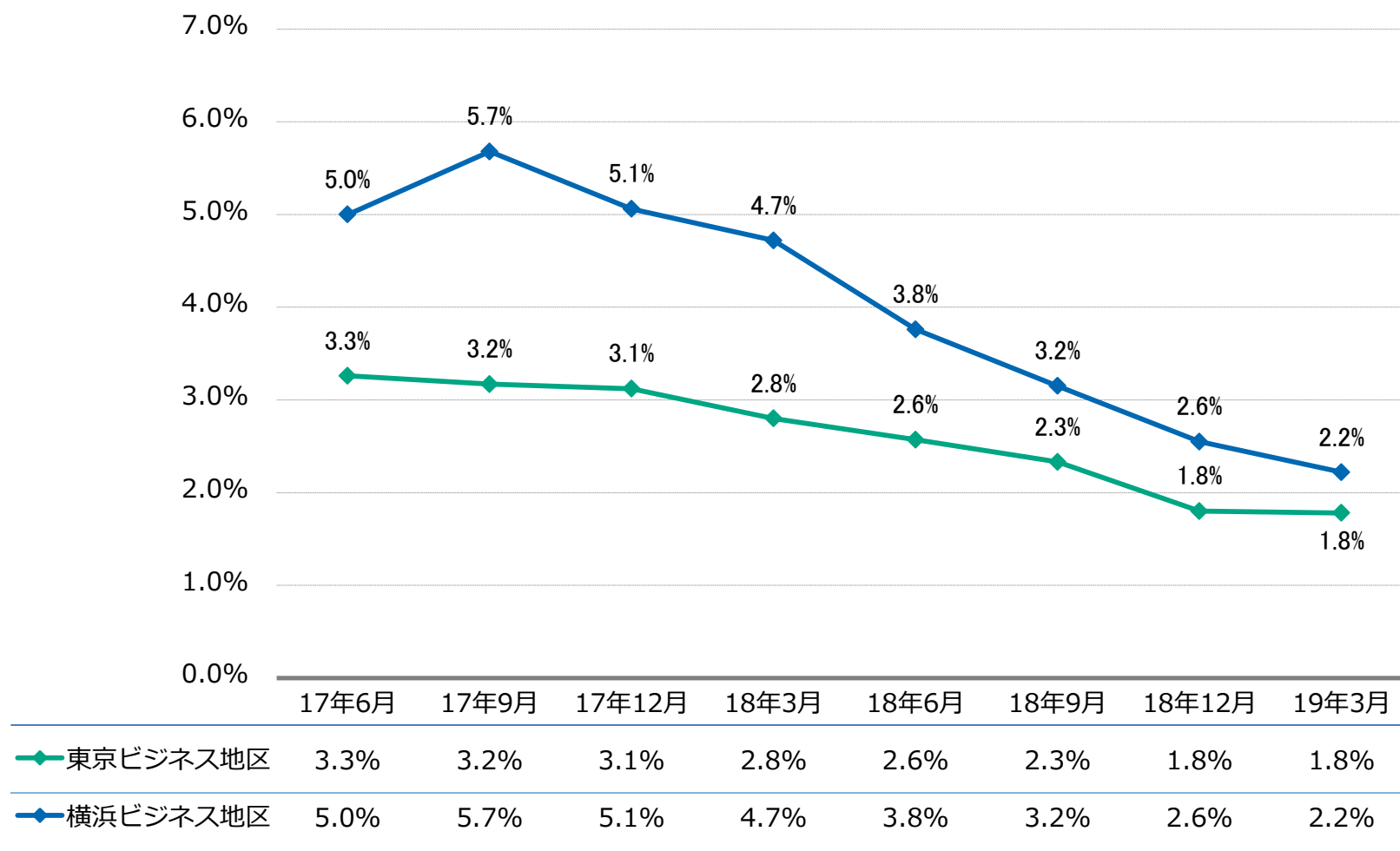
データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会

国際航空貨物取扱量 前年同月比

14

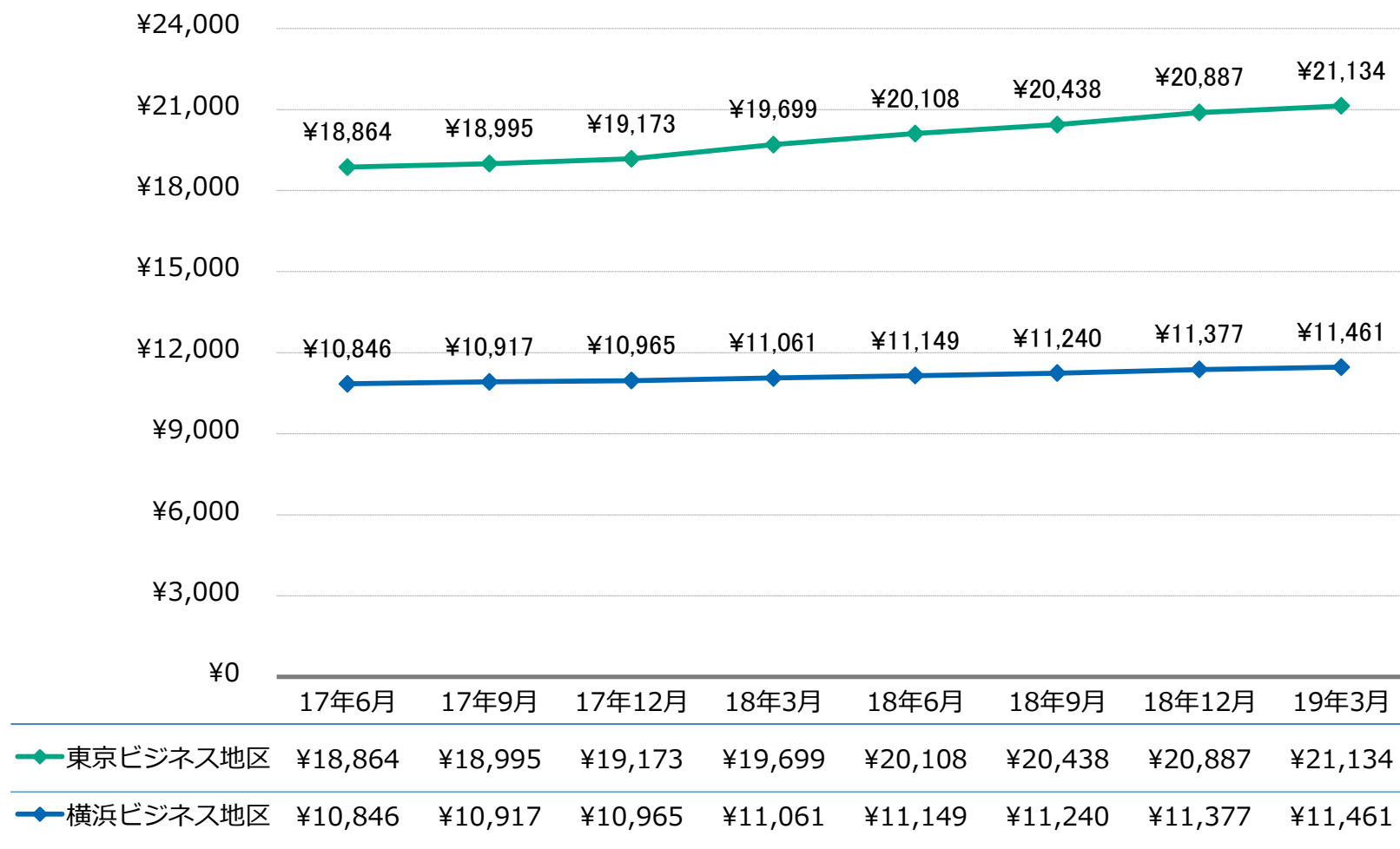


データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会



募集賃料相場（円／坪）

16



データ出典：三鬼商事株式会社 市況・データ情報

1. 長期ビジョンと新中期経営計画について

2. 環境認識

3. 2019年3月期 通期の実績

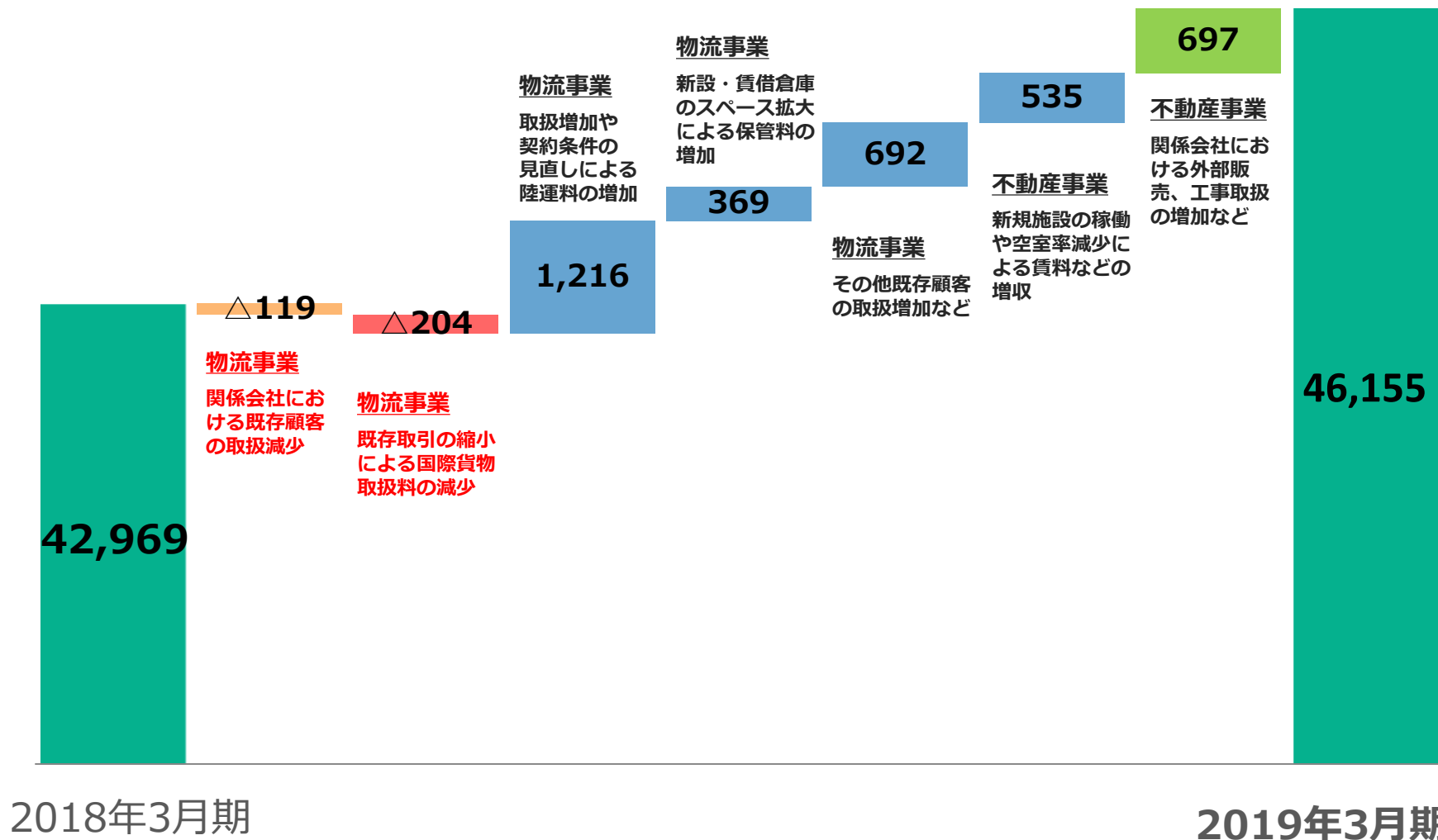
4. 2020年3月期 通期の見通し

	連結		前年同期比		予想比
	18/03期	19/03期	増減額	増減率	増減率
営業収益	42,969	46,155	3,186	7.4%	1.7%
営業利益	2,294	3,557	1,263	55.0%	14.7%
経常利益	2,950	4,369	1,419	48.1%	9.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,938	2,791	853	44.0%	11.6%
営業収益 営業利益率	5.3%	7.7%	2.4pt	-	-
1株当たり当期純利益 (円)	65.73	95.20	29.47	44.8%	-
総資産	120,092	121,420	1,328	1.1%	
純資産	66,265	66,489	224	0.3%	
自己資本比率	55.0%	54.6%	▲0.4pt	-	
1株当たり純資産 (円)	2,246.02	2,270.47	24.45	1.1%	

営業収益の主な変動要因

19

(単位：百万円)



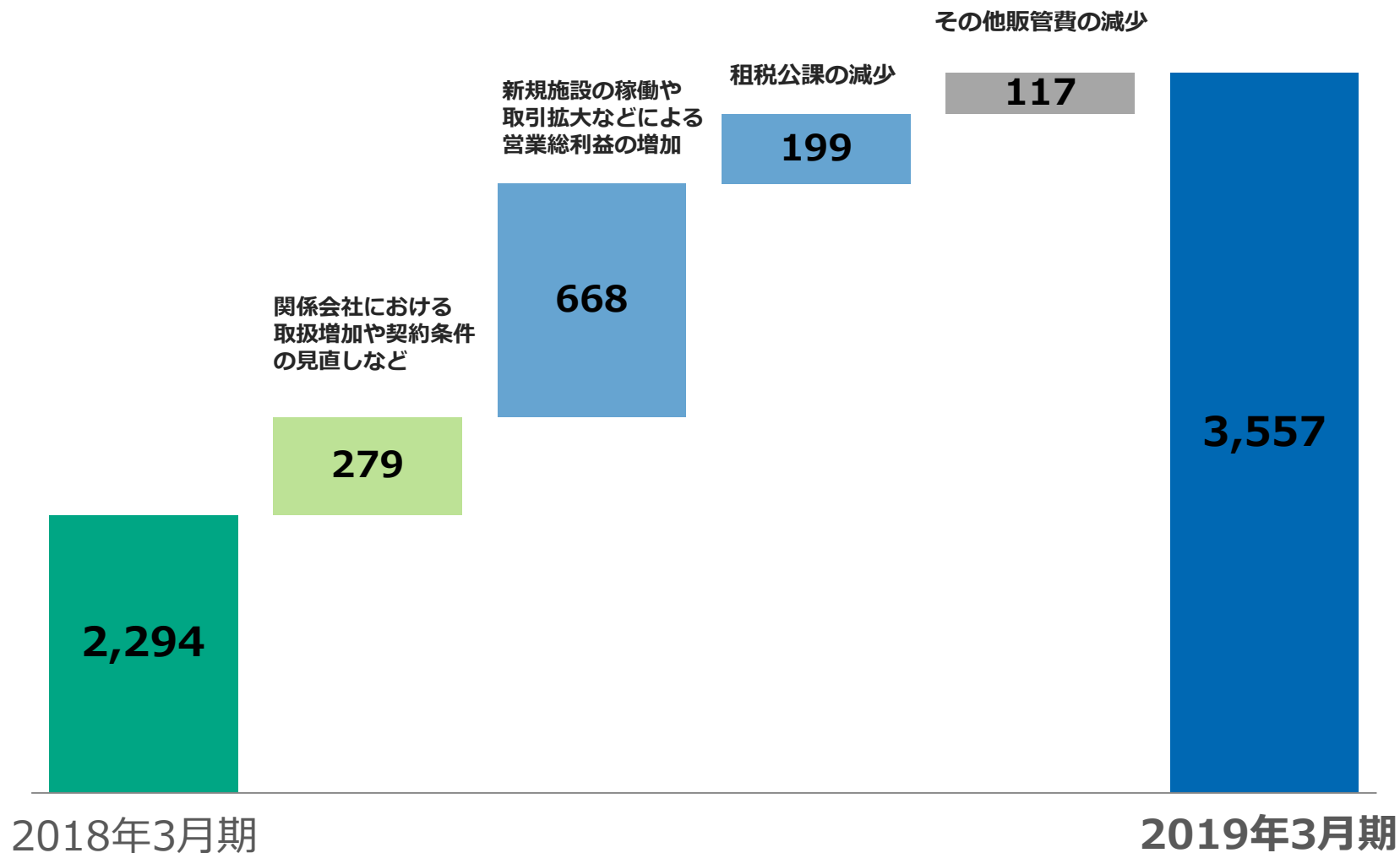
YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

営業利益の主な変動要因

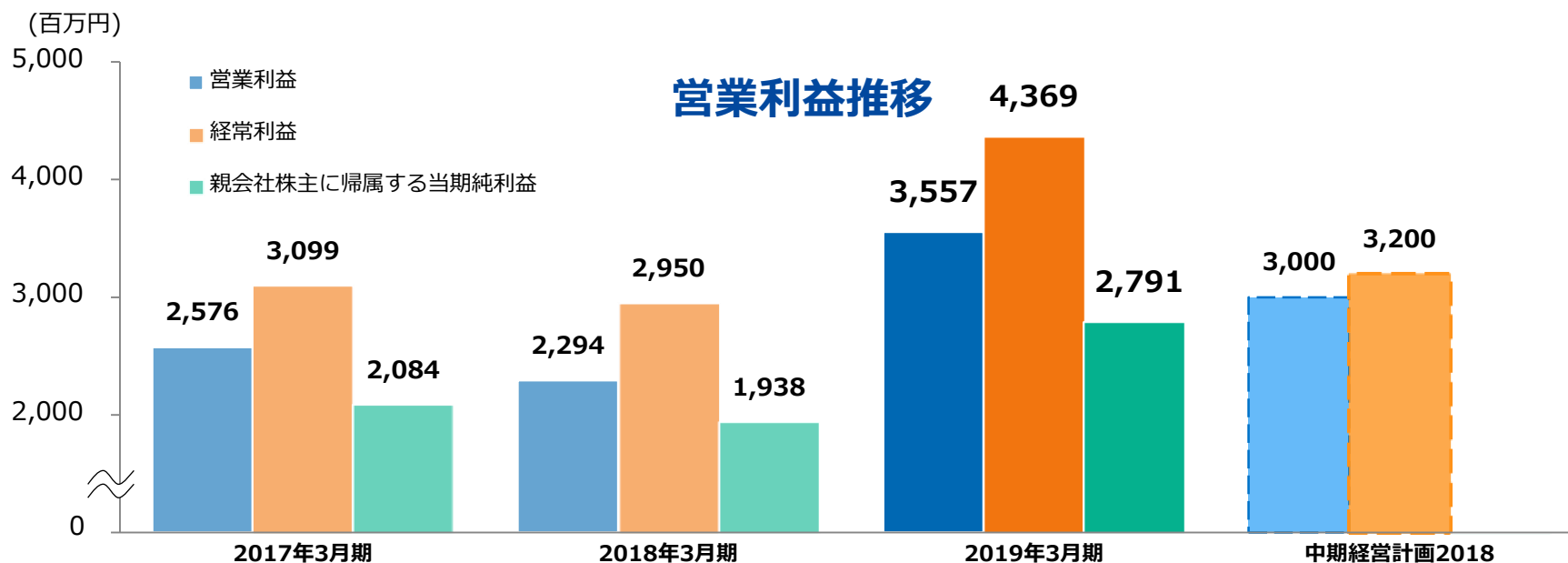
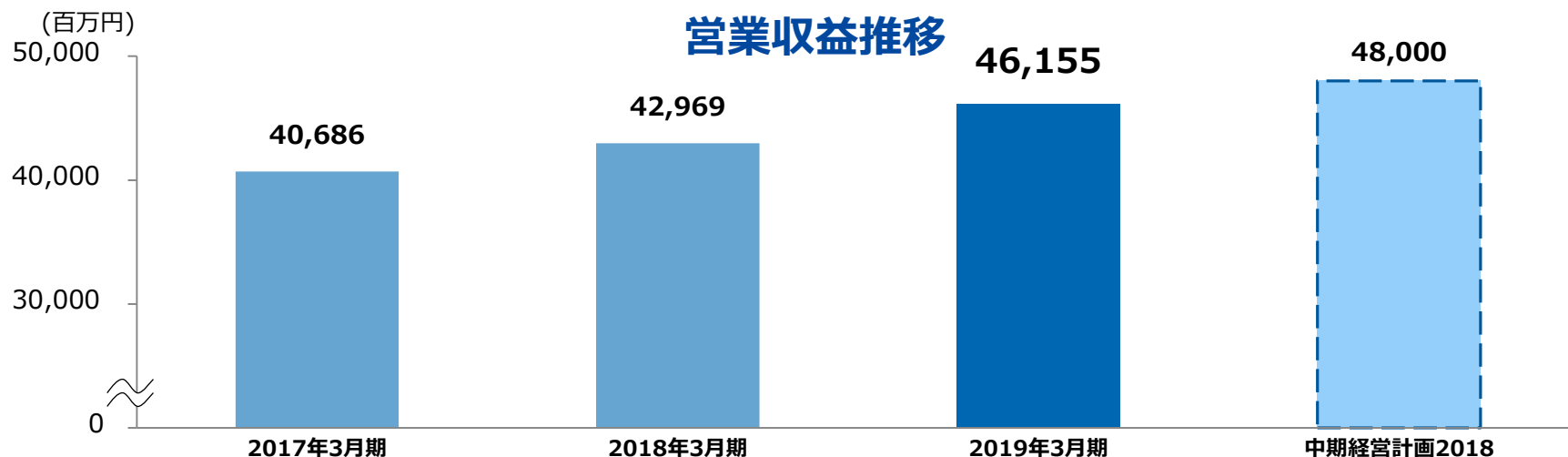
20

(単位：百万円)



業績推移（および中期経営計画との比較）

21



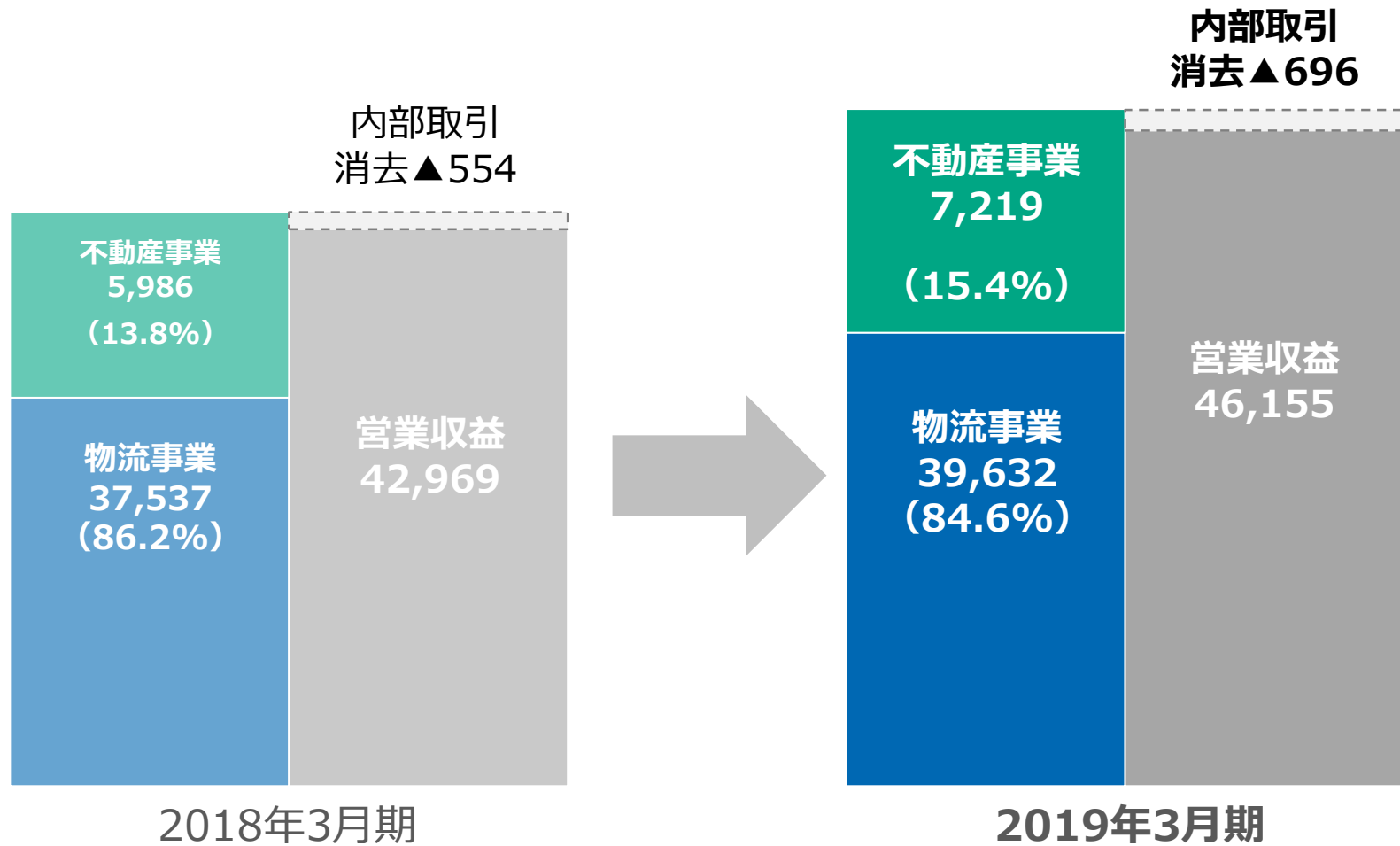
YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

セグメント別営業収益

22

(単位：百万円)
() 内は構成比

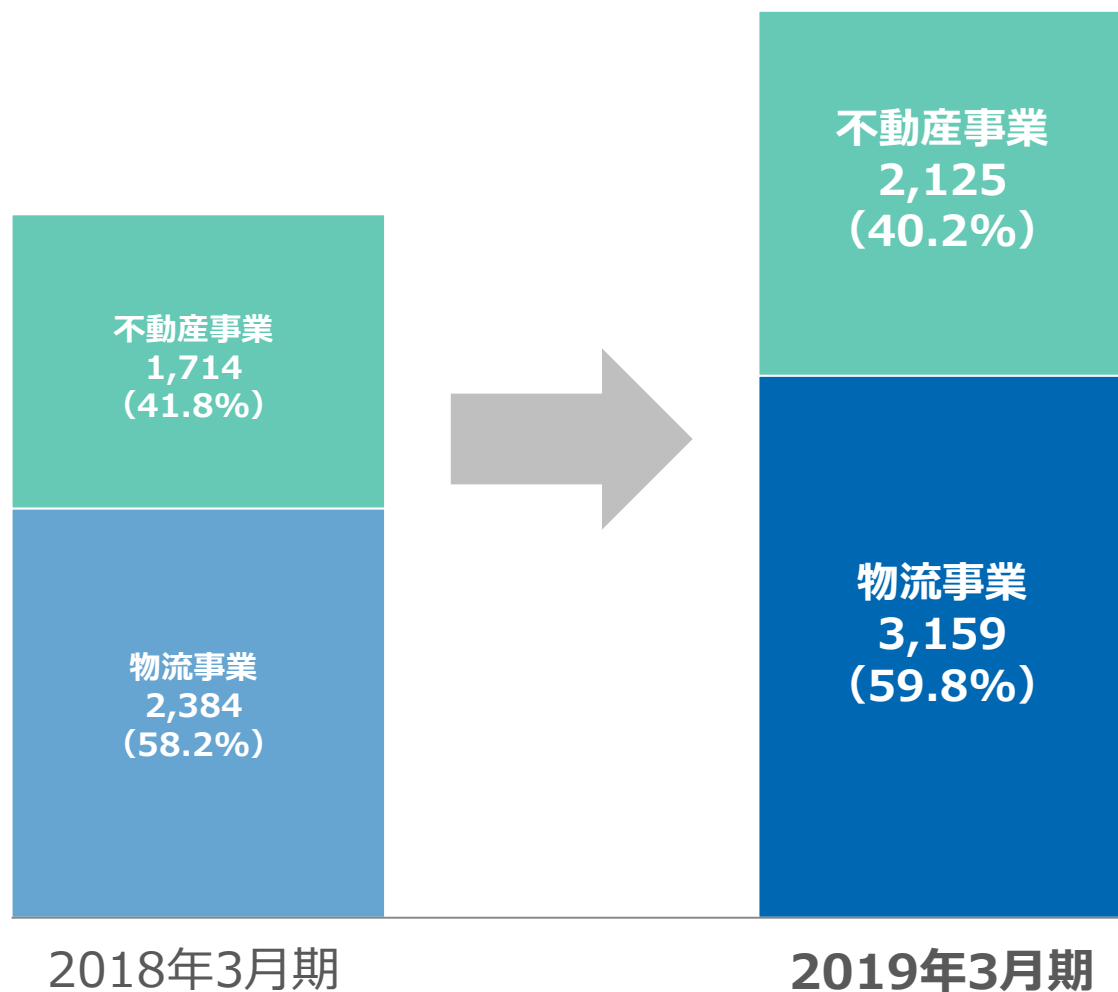


セグメント別営業利益

23

(単位：百万円)

注：（）内は構成比



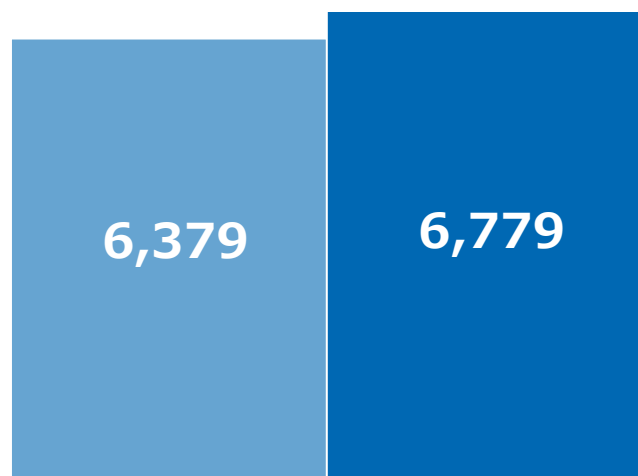
YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

(単位：百万円)

保管料

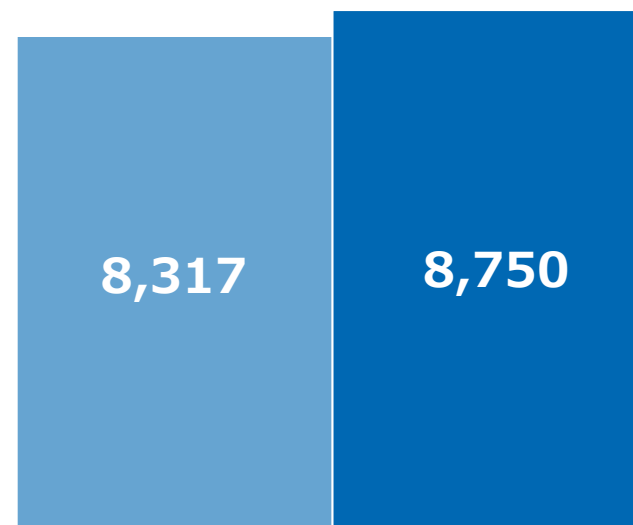
■ 前期 ■ 今期



新規拠点の稼働や既存取引増加など
より前期比増収

倉庫作業料

■ 前期 ■ 今期

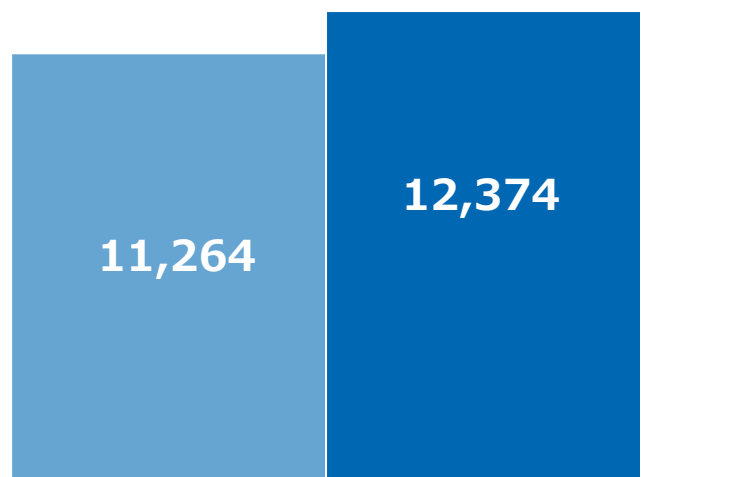


既存顧客との取引拡大や新規拠点稼働により前期比増収

(単位：百万円)

陸運料

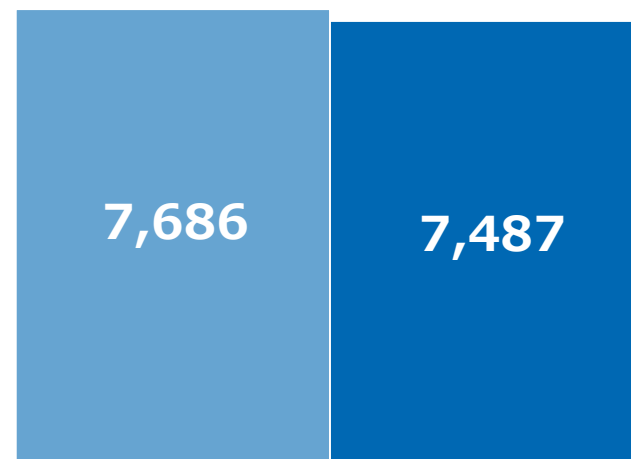
■ 前期 ■ 今期



引越業務拡大、契約料金見直し
などにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 前期 ■ 今期

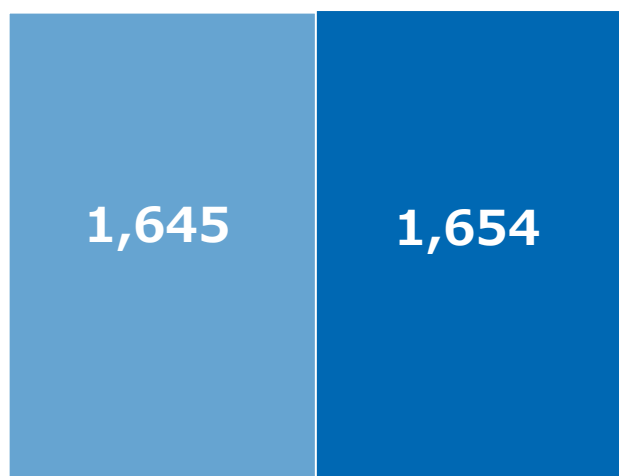


航空SP/EC貨物の取扱拡大も
資機材の輸送取扱減少などにより
前期比減収

(単位：百万円)

物流賃貸料

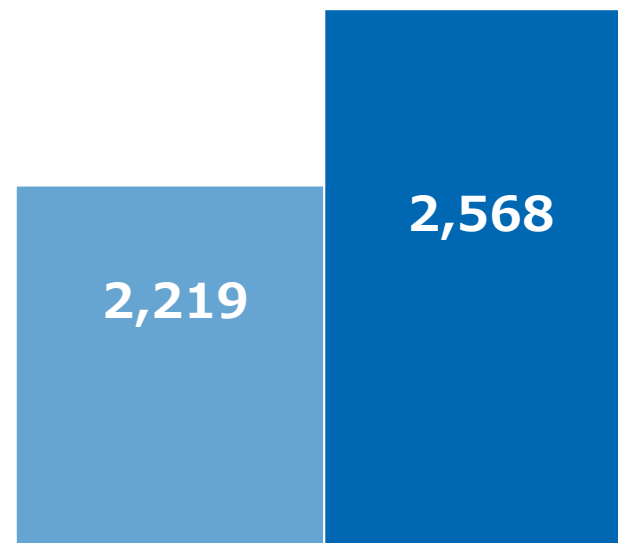
■ 前期 ■ 今期



前年同期比並に推移

その他（物流）

■ 前期 ■ 今期

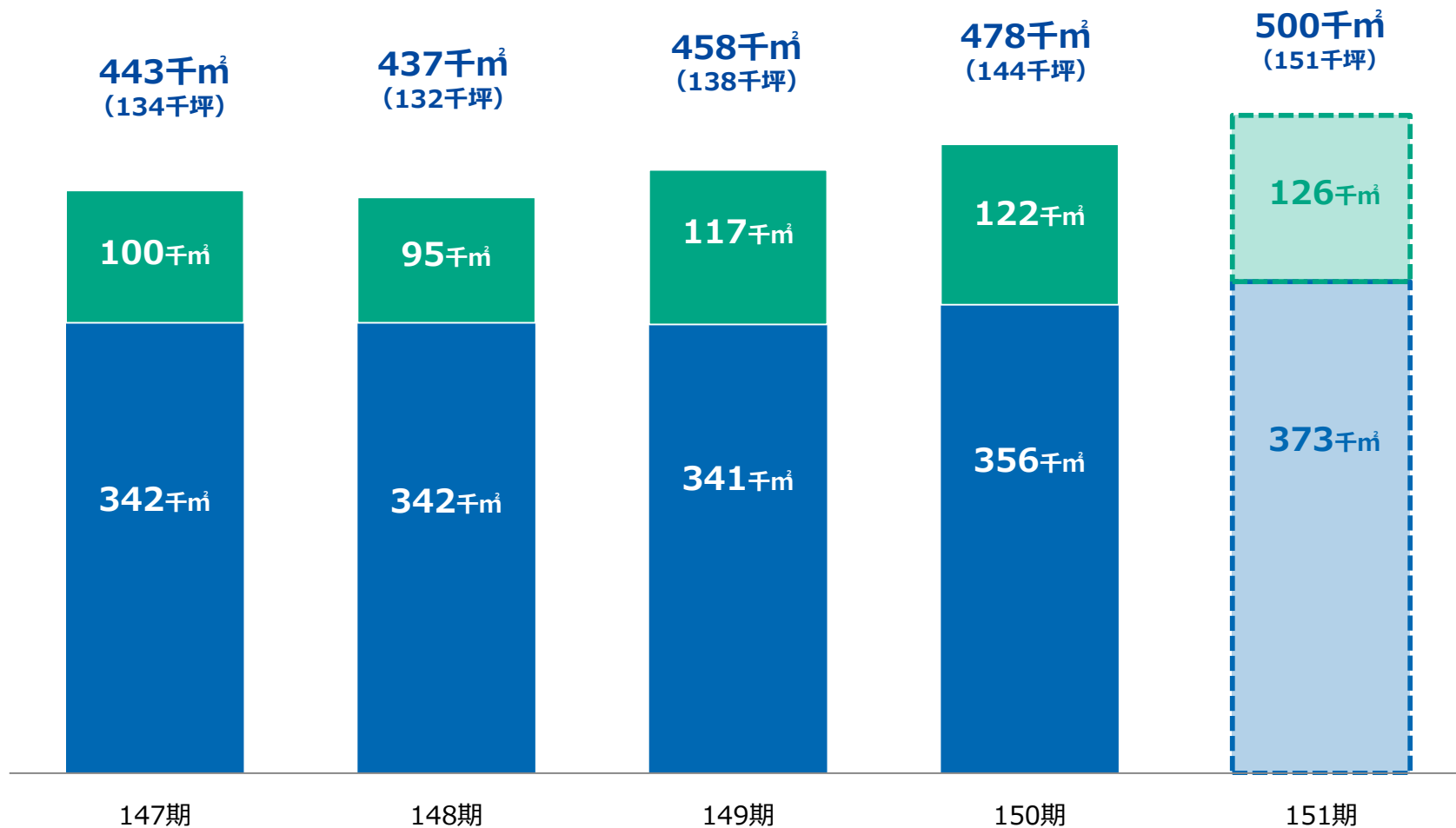


キitting関連業務、購買代行
業務の取扱増加により前期比増収

■ 所有

■ 賃借

(単位：千㎡)



中国(上海)2号倉庫開設



1号倉庫外観



2号倉庫外観

所在	上海市青浦区青浦工業園区新枝路66号	
敷地面積	約11,550坪	
	1号倉庫	2号倉庫
延床面積	約2,830坪	約7,820坪
主要構造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
階数	1階、一部2階（事務所）	3階
スケジュール	平成29年2月竣工 平成29年4月開設	平成30年7月竣工・開設

九州・北海道でメディカル関連サービスを開始



施設外観



施設外観

メディカル関連サービスの全国展開を推進しており、新たに九州と北海道にて取扱いを開始いたしました。

高度な専門性と品質が求められるメディカル分野の物流ニーズは全国各地に潜在しており、お客様のご要望にお応えすべく拠点新設や配送ネットワーク拡充により全国規模でのサービスを展開して参ります。

メディカル物流サービスの拡大

許可番号 第 N07986号

高度管理医療機器等 販売業
貸与業 許可証

氏名 安田倉庫 株式会社

営業所の名称 安田倉庫 株式会社 茨木営業所

営業所の所在地 茨木市丑寅1丁目10-43

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第39条第1項の規定により高度管理医療機器等の 販売業 の許可を受けた者であることを証明する。
貸与業

平成31年3月25日

大阪府知事職務代理者 竹内 廣行
大阪府副知事



有効期間 平成 31 年 4 月 8 日 から
平成 37 年 4 月 7 日 まで

事業所コード 7014984

既に関東地区（大井/守屋町/柏）で取得している高度管理医療機器等販売業/貸与業許可証について、新たに関西拠点（茨木）でも取得いたしました。

取得実績：

医療機器製造業登録証

体外診断用医薬品製造業登録証

医薬品卸売販売業許可証

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

1. 新規取引の開始

- (1) 特殊医薬品保管業務 . . . 大井埠頭営業所
- (2) オフィス家具の保管業務 . . . 大黒流通センター
- (3) 化粧品・定温食品の保管業務 . . . 安田物流
- (4) インフラ関連企業の本社移転業務 . . . オフィスサポート
- (5) 宅配便保管型ロッカーの保管/キitting業務 . . . ITキittingユニット

2. 既存取引の拡大

- (1) 加熱式タバコの検品/加工業務 . . . 守屋町営業所

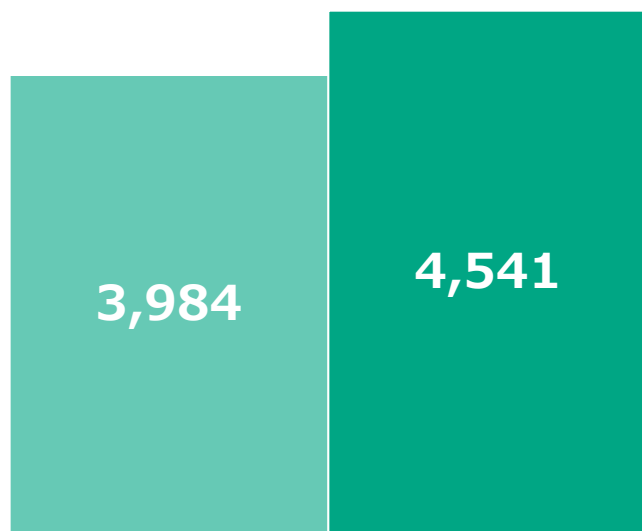
3. 取引条件の見直し

. . . 各営業所

(単位：百万円)

不動産賃料

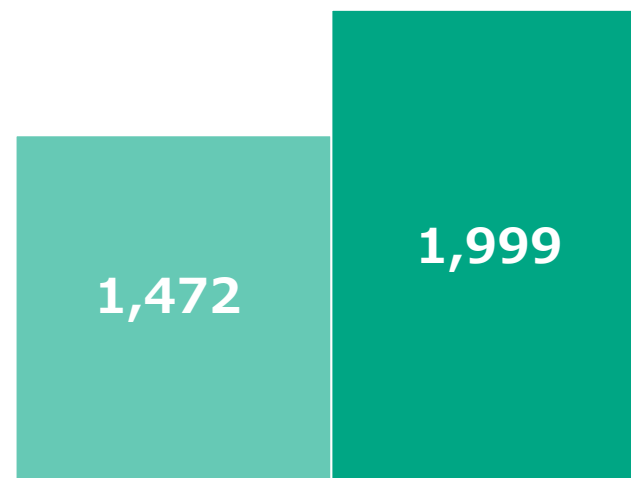
■ 前期 ■ 今期



第7安田ビル竣工により前期比増収

その他（不動産）

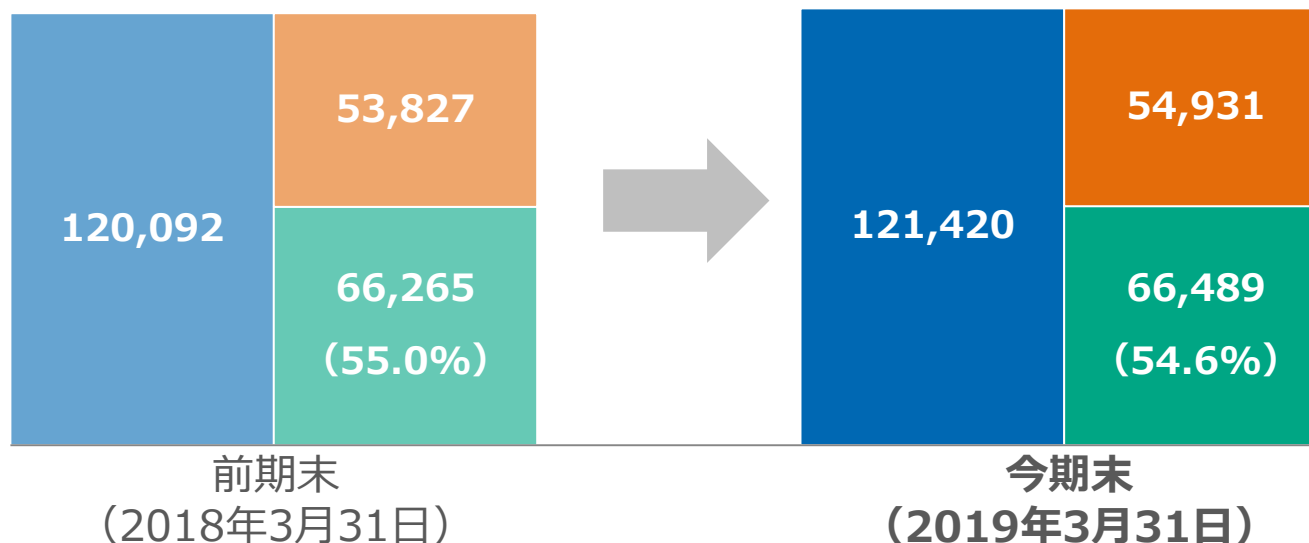
■ 前期 ■ 今期



工事の受注増加などにより前期比増収

(単位：百万円)

注：（）内は自己資本比率



主な要因

総資産

現金及び預金（+ 2, 9 0 6 百万）
建物及び構築物（+ 6 8 8 百万）
投資有価証券（▲ 2, 6 0 9 百万）

負債

長期借入金（+ 1, 3 2 1 百万）
繰延税金負債（▲ 7 8 9 百万）

純資産

利益剰余金（+ 2, 3 8 0 百万）
その他有価証券評価差額金（▲ 1, 8 0 5 百万）

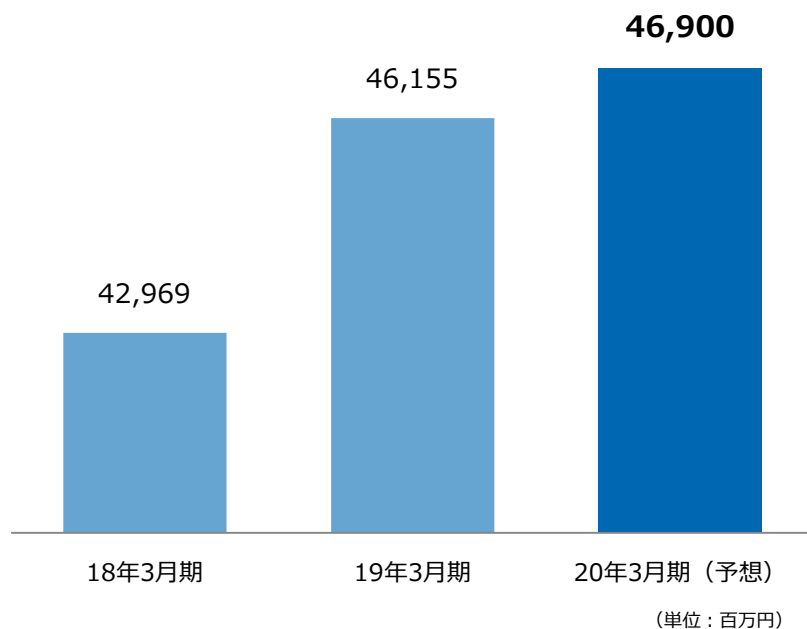
(単位：百万円)

	18/03期	19/03期	前期比	主な要因
営業活動によるCF	+4,546	+6,390	1,844	税金等調整前当期純利益や減価償却費の資金留保など
投資活動によるCF	▲6,397	▲3,406	2,991	固定資産の取得など
財務活動によるCF	+2,790	▲90	▲2,880	配当金の支払や自己株式の取得など
期末残高	4,876	7,786	2,910	

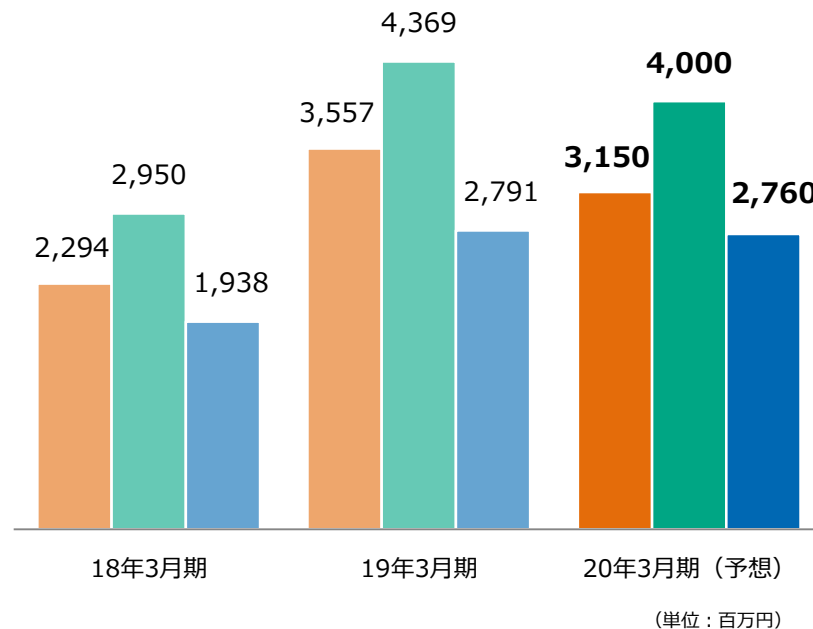
(単位：百万円)

	18/03期	19/03期	20/03期 (計画)
設備投資額	6,164	3,222	4,704
<u>19/03期</u> 主な投資案件 ・上海2号倉庫関連 ・既存施設の整備関連 (大黒、MAC1) ・既存施設の設備更新 など			<u>20/03期</u> ・新規施設検討、準備 ・既存施設の設備更新 (大黒、守屋町) など
減価償却費	2,387	2,561	2,774
期末借入金残高	28,096	28,601	27,950

1. 長期ビジョンと新中期経営計画について
2. 環境認識
3. 2019年3月期 通期の実績
4. 2020年3月期 通期の見通し



前期比		
	増減額	増減率
■ 営業収益	745	1.6%



前期比		
	増減額	増減率
■ 営業利益	▲407	▲11.4%
■ 経常利益	▲369	▲8.4%
■ 当期純利益	▲31	▲1.1%

- ・ 営業収益は、一部顧客の契約終了などあるもメディカル分野やIT機器取扱分野の取引拡大、事業基盤の強化などにより増収を見込む。
- ・ 営業利益は、施設の保守や物流施設の拡充に伴う関連費用および経営インフラの強化に伴う費用の増加などにより減益を見込む。

配当方針

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2016年3月期	年間配当14円	(連結配当性向30.5%)
2017年3月期	年間配当14円	(同20.3%)
2018年3月期	年間配当14円	(同21.3%)
2019年3月期	年間配当19円	(同20.0%)



2020年3月期
年間配当17円予定
(中間配当：8.5円、期末配当：8.5円)

YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.